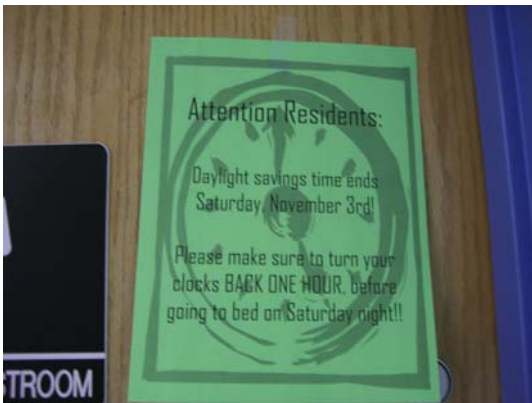


私がここ、モンタナ州立大学ピリングズ校に来てからはや2ヶ月になります。日々のスケジュールは、現在とっているリーディング、英語（これら二つは必修）、アメリカの政治、フランス語（そのほかにも10月の終わりまで、半セメスターのみのテニスと必修の College Success Strategy というクラスをとっていました）が一週間に2、3度あり、毎回宿題が出されるため、午後はその勉強に追われます。週末や夕方にはいろいろなアクティビティーがあるので、ここではそれらを紹介したいと思います。

1日（木曜日）



今日、寮のトイレの前でこんな張り紙を見つけました。デライト・セービングズ・タイム（「サマータイム」という名前を以前聞いた事がありました）によって夏の間早めていた1時間をアメリカのほとんどの州でいっせいに11月の第一日曜日に戻すのですが、特にモンタナのような北に位置している州は日が落ちるのが早く、朝7時頃もまだ暗いので、余分に1時間あるととても助かります。

2日～4日（金曜日～日曜日）

モンタナ州立大学ピリングズ校には多くの宗教系の団体があります。中でも国際留学生のお世話をしてくれているサラという学生がキリスト教系の団体の一つである INTERVARSITY のメンバーなので、現在ほとんどの留学生がそれに参加しています。今週末、私は FALL FAITH というイベントに参加しました。このイベントはモンタナの大学にあるクリスチャン団体のほとんどが BUTTE というピリングズから車で5時間程離れたところにある町の Montana Tech と呼ばれる大学に一齐に集まってバイブル・スタディーやウォーシップの歌を歌ったりして3日間を過ごすというものです。私はキリスト教信者



という訳ではありませんが、キリスト教はある意味ではアメリカの文化について学ぶ際の一つの要素であると思います。

← 4日間泊まった教会

↓ビリングズから参加した学生



4日の夕方、Butte から帰った後、学校の近くの教会で行われた大学の 2 つの合唱のクラス（クワイヤーというクラスだそうです）によるコンサートを聴きに行きました。曲は主に世界各国、例えばドイツやブラジル、オーストラリアのアボリジニーの民謡などで、とても楽しめる内容でした。週に2回、2ヶ月程度の比較的少ない練習だったのにもかかわらず、各クラス4曲を完成させていたので、とても頑張っていたと思います。このクラスはとても人気で、こういった演奏会も魅力の一つのようです。



7日（水曜日）



夕方、キャンパス内のタンゴの無料レッスンに参加しました。なかなか難しいものですね（-。-；）

水曜日の夜は、インターナショナル RA（Resident Assistant）のサラの部屋で毎週行われているバイブル・スタディーに行きます。



8日（木曜日）

今日は珍しくフランス語のクラスがキャンセルになりました。外国語や数学など、多くの授業が Liberal Arts Building という 8階建ての建物で行われますが、ほとんどが小人数タイプのクラスです。



毎週木曜日の夜は、U-nite と呼ばれる Intersvarsity の集まりがあります。やる事としてはやはりウォーシップの歌を歌ったり聖書の勉強をする事ですが主ですが、学校内の他の学生たちと知り合えるのも魅力の一つです。

9日（金曜日）

今日は珍しく日本食（？）がカフェテリアの夕食に登場しました。「てんぷら」と「ポン酢」だそうです。普段のカフェテリアの夕食はジャガイモや牛肉等の料理が主ですが、以前は中華料理で春巻きや焼きそばのようなものが出たりもしました。昼は夜とは違い、スパゲッティや「テリヤキソース」の焼きそばをその場で作ってもらえ、学生たちに人気です。カフェテリア内には常にハンバーガー、タコス、サンドウィッチ、ピザ、そしてクッキーのアイスクリームのコーナーがあります。



その夜は留学生やアメリカ人の友達と集まってインド映画を見ました。



10日（土曜日）

今日は夕方から学校内にあるプールに行きました。ジムにはプールのほかにもトレーニングルームやバスケットコート、室内の壁打ちテニス（いわゆる「スカッシュ」に似ていますが、少々違うようです）のコートもあり、朝 6 時から夜の 10 時半まで開いていて学生であれば学生証を見せるだけでいつでも好きなだけ運動することができます。



夕方、ネイティブ・アメリカンの Powwow という祭を見に行きました。子どもからお年寄りまで多くの人々がそれぞれ羽根や動物の歯等で飾られた色とりどりの衣装をまとって集まり、太鼓に合わせて円を描くようにして踊ります。一言にネイティブ・アメリカンと言っても、モンタナには数多くの部族がいます。普段は白人社会に混じって生活している人々ですが、このような祭は年間によく行われ、8月に行われる Crow Fair というイベントでも見る事ができます。モンタナ州立大学ビリングズ校にも多くのネイティブ・アメリカンの学生がおり、「ネイティブ・アメリカン・スタディー」というクラスも開講されています。

11日（日曜日）



毎週日曜日の朝は教会に行くのが習慣になっており、ロック系の音楽に合わせて Worship Song を歌ったり、説教や聖書についての説明を聞いたり、様々なゲストのライフストーリーを聞いたり、時々劇を見たりします。

12日（月曜日）

今日は Veterans Day（元大統領アイゼンハウアーによって第一次世界大戦終戦を示す署名がなされた日）という国民の休日でした。

13日（火曜日）

夕方、Liberal Arts Building にて学校の演劇団体による舞台”Buried Child”が上演されました。年間4回程公演が行われるそうです。



17日（土曜日）



今日は私が春学期にインターンシップをする国会議員事務所を見に行きました。私の場合には車も自転車も持っておらず、事務所まで行く交通手段は徒歩かバスしかないので（本数が少なく、比較的大きめの道路にしか通っていないため）少々不便ではありますが、日本以外での初めてのインターンということでもとても楽しみです。

帰り道に大学のすぐ横にある **Rimrock** と呼ばれる丘にのぼりました。町もだいぶ寒々とした光景になってきています。



18日（日曜日）

今日は昼過ぎからインターナショナルクラブが企画したアイススケートに行きました。留学生以外にも多くの学生が参加し、大いに盛り上がりました。

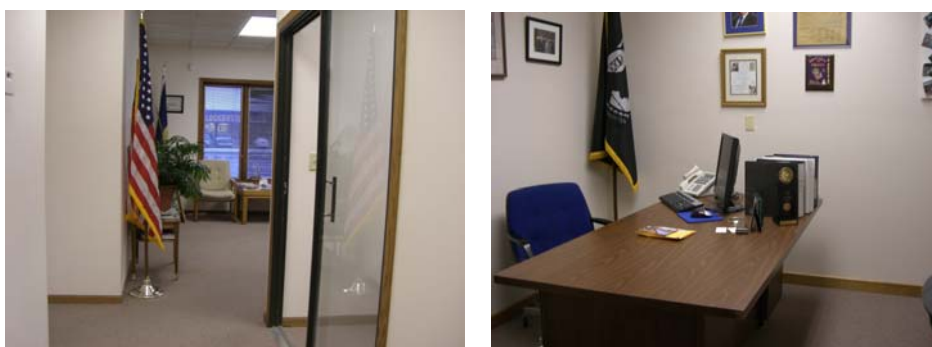


19日（月曜日）

今日は私にとってビリングズでの初雪でした。あまり激しい雪ではありませんでしたが、1時間で5センチ程積りました。こちらで雪が降るときはとても寒くなるのだらうと想像していましたが、乾燥している為か、あるいは体が慣れてきたせいかな、寒がりの私でも手袋なしで外を歩けるほど不思議と体感温度は低くありません。



午後から、前にも紹介した春のセメスターからインターンシップでお世話になる国会議員 Denny Rehberg 氏の事務所を見学に行きました。



20日（火曜日）

明日から日曜日まで Thanksgiving と呼ばれる休日です。この Thanksgiving は 100 年程前、ヨーロッパからアメリカへと渡った移民が、無事に一年間を過ごせたことを感謝しネイティブ・アメリカンの人々と共にお祝いをしたことから始まったそうです。

午前中に授業が終わったので、午後から車で 11 時間程離れたところにあるアイダホ州にあるホストファミリーの親戚の家へと向かいました。

21日（水曜日）～25日（日曜日）

Thanksgiving と言えばやはり七面鳥です。中に細かく刻んだパンや香辛料などを混ぜたものをつめ、オーブンで 5 時間ほど焼きます。その他にもグレイビーソースやクランベリーソース、かぼちゃパイ等、伝統的な料理を作りました。

夜はダウンタウンにパレードと打ち上げ花火を見に行きました。



26日（月曜日）

期末テストまであと2週間です。Thanksgivingの長期休みのせいで足りなかった時間を埋めるためか、今日は夜の9時からU.S. governmentのクラスのStudy Sessionがありました。

27日（火曜日）

毎週火曜日の夜はReal Lifeと呼ばれるこれまたキリスト教のウォーシップのコンサートがPetro Hall（寮の1階にある、熊本県立大学でいうと十七番教室のようなホール）で行われます。

28日（水曜日）

今日はバイブル・スタディーが終わってからPetro Hallで上映された映画'License to wedding'を見に行きました。1ヶ月に2回の程度で映画の上映会が開かれ、無料のポップコーンも振る舞われます。

30日（金曜日）

今日はInternational Clubのミーティングがありました。このクラブは現在MSU-Billingsで学んでいる交換留学生、4年間の学生、大学院生によって構成され、いろいろなイベントを企画し実行するというものです。援助金も学校から支給されます。

以上が、学校の学習以外で私が実際に参加した11月のイベントです。